

都市再生安全確保計画策定事業費補助金を活用した基礎データの収集・分析等の一覧表(平成24年度)

Table with 15 columns: ① 都市再生緊急整備地域名, ② 補助事業者, ③ 対象エリア, ④ 対象面積, ⑤ 滞在(滞留)者数/帰宅困難者数, ⑥ 都市の人口・交通, ⑦ 都市の機能, ⑧ 建築物(耐震性、改修、被災程度確認), ⑨ 退避一時滞在(退避経路、避難誘導、救出・救援退避施設、物資配給、消火), ⑩ 情報・ライフライン, ⑪ 事業継続・防災対策, ⑫ 被害の検討等(想定する災害、シナリオ設定), ⑬ シミュレーション・検証, ⑭ その他調査・ヒアリング, ⑮ 今後の課題・課題整理等. Rows include specific areas like A 札幌中心地域, B 東京都心・臨海地域, C 新宿駅周辺地域, D 横浜中心・臨海地域, E 川崎駅周辺地域, F 名古屋駅周辺・伏見・栄地域, G 京都駅周辺地域, H 大阪駅周辺・中之島・御堂筋周辺地域, I 大阪コスモスクエア駅周辺地域, J 大阪ビジネスパーク駅周辺・天満橋駅周辺地域.

※1. この一覧表は、都市再生安全確保計画策定事業費補助金(内閣府)を活用した基礎データの収集・分析等のうち、主な項目を掲載しています。
※2. 滞在(滞留)者数には、従業員等を含みます。また、数値は今後の検討により変わる可能性があります。
※3. 【参考】平成25年度補助事業者【継続】(平成25年10月現在):札幌市、新宿区[新宿駅東口周辺地域(基礎調査等)]、横浜市、大阪ビジネスパーク開発協議会
※4. 【参考】緑文字:補助事業者による単独事業分、青文字:平成25年度補助事業分
※5. 【参考】補助対象経費:地域内の滞在人口の推計、地域内の建築物の耐震性能に係るデータの収集・分析、ライフラインの防災性能に係るデータの収集・分析、地域内の退避場所・退避施設に係る現況調査、退避者の退避行動シミュレーション、退避経路の安全性の検証、退避者の退避場所・退避施設への収容状況の分析、その他都市再生安全確保計画の作成に必要なデータの収集・分析等